

登録コード	E7141300	開講年度	2026				
授業科目	I C T活用教育基礎演習Ⅱ					担当教員	佐藤 和紀
英文授業名	Basic Seminar for ICT Use in Education Ⅱ					副担当	森下 孟
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室	教育学びむろー201		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	デジタル社会における教育の公平性や重要性を深く理解する。多様な児童生徒の学習権を保障し、安全で創造的なICT学習環境を構築・運営するための、高度な倫理観と公共的使命感を養う
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	学習履歴データの活用や教材開発等の演習を通じ、デジタル学習基盤を活用した授業改善の実践手法を習得する。個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、教育現場の課題を解決へと導くための高度な専門的知識と指導技術を身につける。
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	中央教育審議会令和答申や文部科学省諮問を踏まえ、次期学習指導要領に対応するための実践ができるようになるために、関連する学術論文、教育心理学、認知心理学を踏まえ、教育工学研究をベースに、1人1台の情報端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する議論や授業参観を通して、I C T活用に関する基礎的な知識技能を習得する。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：中央教育審議会令和答申の背景 第3回：2GIGAスクール構想 第4回：教育の情報化が果たす役割 第5回：情報活用能力の育成 第6回：学びの場における情報通信技術の活用（デジタル教科書・教材） 第7回：学びの場における情報通信技術の活用（情報端末・デジタル機器） 第8回：学びの場における情報通信技術の活用（ネットワーク環境） 第9回：校務の情報化の在り方 第10回：教員への支援の在り方（教員の役割と情報通信技術の活用指導力養成） 第11回：教員への支援の在り方（教員のサポート体制の在り方） 第12回：教育の情報化の着実な推進に向けて 第13回：21世紀にふさわしい学びの環境とそれに基づく学びの姿の実際（小学校） 第14回：21世紀にふさわしい学びの環境とそれに基づく学びの姿の実際（中学校） 定期試験						
(6)成績評価の方法	・各回の内容に関するミニ試験・レポート（50%）、教育の情報化と21世紀にふさわしい学びに関する最終試験（50%）を総合して判定する。 ※評価割合は若干の調整を行うことがある。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	「卓越している」： 本授業での学習内容を多面的・総合的に取り入れていてさらに独自に調査した内容を極めて効果的に加えていて卓越している。また、授業中の討論及びクラウド上では、ディスカッションに積極的に参加して他の学生の意見を引き出しつつまとめ役をしている。 「かなり上である」： 本授業での学習内容を多面的に取り入れていてさらに独自に調査した内容を効果的に加えていてかなり上である。また、授業中の討論及びクラウド上では、ディスカッションに積極的に参加しつつ他の学生の意見を引き出している。 「やや上にある」： 本授業での学習内容を取り入れていてさらに独自に調査した内容を加えていてやや上にある。また、授業中の討論及びクラウド上では、ディスカッションに積極的に参加している。 「水準にある」： 本授業での学習内容を取り入れていて水準にある。また、授業中の討論及びクラウド上では、ディスカッションに参加している。						
(8)事前事後学習の内容	・事前事後学習のために、e-Learningシステム（eALPS等）を活用して授業を展開していく。 ・事前学習としては、eALPS等にアップロードしてある各回の授業での配布物を事前にダウンロードしたり、eALPS等に掲載してある関連URLからWebサイトを閲覧したりすることによって、問題意識を明確にしたうえで授業に参画する。 ・事後学習としては、各回の授業で学んだこと・疑問に思ったこと・疑問に思ったことについて調査してわかったこと等をeALPS等に記入し、学生間で共有する。						
(9)履修上の注意	・本科目の受講開始前に、「I C T活用教育基礎演習Ⅰ」を履修済みであること。 ・本科目の受講と並行して、「I C T活用教育演習Ⅰ」を履修すること。 ・本科目の受講開始前か同学期に、「授業設計教材開発方法」「情報機器活用指導法」「情報機器活用論」「情報活用能力育成法」「マルチメディア教育論」を履修済みであるか並行して履修することが望						

(9)履修上の注意	ましい。 ・授業の前後に必ずeALPS等の当該コースにアクセスして事前事後学習に努めること。 ・各回の授業後にeALPS等のフォーラムで意見交換をすること。
(10)質問，相談への対応及び連絡先	・佐藤研究室 次世代型学び研究開発センター2F 内線電話：831-4102 オフィスアワー：（前期・後期） メール予約で随時対応 E-mail：sato_kazunori@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	・文部科学省『教育の情報化に関する手引』（2010年10月29日） （ http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/1259413.htm ） ・堀田龍也，佐藤和紀（2019）情報社会を支える教師になるための教育の方法と技術，三省堂，978-438536264
【参考文献】	